

生ごみ堆肥化モデル事業

市ではごみの減量と循環型社会の構築を目指すため、平成13年度新規事業として家庭から排出される生ごみを堆肥化する事業を開始しました。現在モデル地区として792世帯の協力を得て、旧吉田焼却場跡地内プラントでEM菌を使って生ごみを堆肥化しています。

事業実施期間

平成13年度～平成17年度（5カ年間）

事業開始

平成14年1月16日

堆肥化プラント施設概要

鉄骨製ビニールハウス（シャッター付）

設備

品名	台数	品名	台数
粉碎機	1台	ベルトコンベア	3台
フォークリフト	2台	1tトラック	2台
自動散布機	1台	袋詰機	1台
EM活性液製造装置	1台	堆肥ふるい機	1台

事業協力者

- （ア）NPO緑の会 生ごみモデル事業に係る一切の運営等（堆肥作り等）
（イ）シルバー人材センター 生ごみの回収～堆肥作りに関する協力
（ウ）市立つつじ園 知的障害者による手作りのボカシ菌の提供

堆肥化事業の流れ

- ・ 回収品目 家庭から出る生ごみ
- ・ 収集場所 週1回
- ・ 回収場所 指定されたごみステーション（90カ所）

取手市生ごみ資源化モデル事業 資源循環型社会構築を目指して

生ごみ処理の方法～台所から収集ペールまで～

- 1 生ごみは水をよく切り専用処理容器に入れ、ボカシ（1kg入袋/月末配布）をふりかけ、軽く混ぜ、ふたをする。大きい野菜や果物は一口大に、生魚やアラなどはボカシを多めに、まぶすような感じに。
- 2 1を繰り返す。下から抜く液体を発行液といい、そのまま台所から流すと、パイプ、U字溝、川をきれいにします。
500～1000倍に薄めて花や野菜にかけると元気になり虫や病気にかかりにくくなります。
- 3 収集日の朝8:00迄に収集ペールへ
液体を完全に抜いた専用容器に、生ごみ専用収集袋を逆にかぶせ、容器ごとひっくり返して袋に入れる。（この袋はトウモロコシを原料とする生分解性プラスチックで分解して、堆肥になります。）
*袋入りの生ごみを収集用ペールに入れる。（ペールは前日午後配布します。）
 - ・口は紐で縛らないで下さい。
 - ・貯めないで毎週出して下さい。この袋はビニールより強度が落ちます。
ご協力をお願いします。

入れないで下さい！

ビニール、金属、たばこの吸殻、おむつ、ガラス、陶器等堆肥にならない物

用語説明

- ・ボカシ 有効微生物群（EM）を米ぬか、モミガラ等に培養したもの。生ごみを腐敗させない役目をします。
- ・専用処理容器 EMにより、生ごみを良質堆肥化するための台所処理容器、抗酸化セラミックを練り込んだプラスチック製品。